

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2023年12月下旬刊行

植民地朝鮮の愛国婦人会

—在朝日本人女性と植民地支配—

広瀬玲子 著

A5判・ハードカバー・290ページ 本体価格 7,000円

日本の植民地支配は女性の力を必要とした。

植民地支配と戦争遂行を、女性たちの同意を調達しながらソフトランディングさせるための役割を演じた愛国婦人会。そこから、日本女性史における「植民地責任」を考える。

【目次】

序論	問題意識と方法
第1章	大韓帝国における愛国婦人会の誕生
第2章	社会事業・救済事業と「日鮮融和」
第3章	朝鮮半島の多事と軍事援護活動
第4章	満州事変の開始と愛国婦人会
第5章	戦時体制下の愛国婦人会
終章	朝鮮植民地支配における愛国婦人会の役割

〈著者紹介〉広瀬玲子（ひろせ れいこ）：北海道情報大学名誉教授

～版元から～ 植民地朝鮮において組織された官製婦人団体・愛国婦人会。本書はその誕生（1906年）から1942年に大日本婦人会に統合・解消されるまでの足跡をたどり、日本の朝鮮植民地支配において愛国婦人会がどのような役割を期待され、いかなる役割を果たしたのかを、植民地支配そのものとのかわりの中で説明します。植民者としての日本人女性というものに注目し、一国史の枠組みを超えて、日本女性史における「植民地責任」を問い直す試みです。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	植民地朝鮮の愛国婦人会 —在朝日本人女性と植民地支配— 広瀬玲子 著	日本史（近代） 朝鮮史（近代）
	ご担当	A5判・ハードカバー、290ページ 本体価格 7,000円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN 978-4-908672-70-5 C3021	

ご注文は (株) JRC へ

返品条件付注文です。

FAX：03-3294-2177

電話：03-5283-2230